

平城西中学校区 保護者説明会

平成30年12月13日



奈良市教育委員会事務局
教育政策課

説明内容

1. これまでの経緯

- ・ 学校規模適正化と平城西中学校区の現状から

2. 新しい学校構想のPoint

① 教育内容

- ・ 統合再編の必要性和統合後の姿
- ・ なぜ施設一体型小中一貫教育校か

② 施設

③ 懸案事項

- ・ 開校に向けて
- ・ 跡地活用について

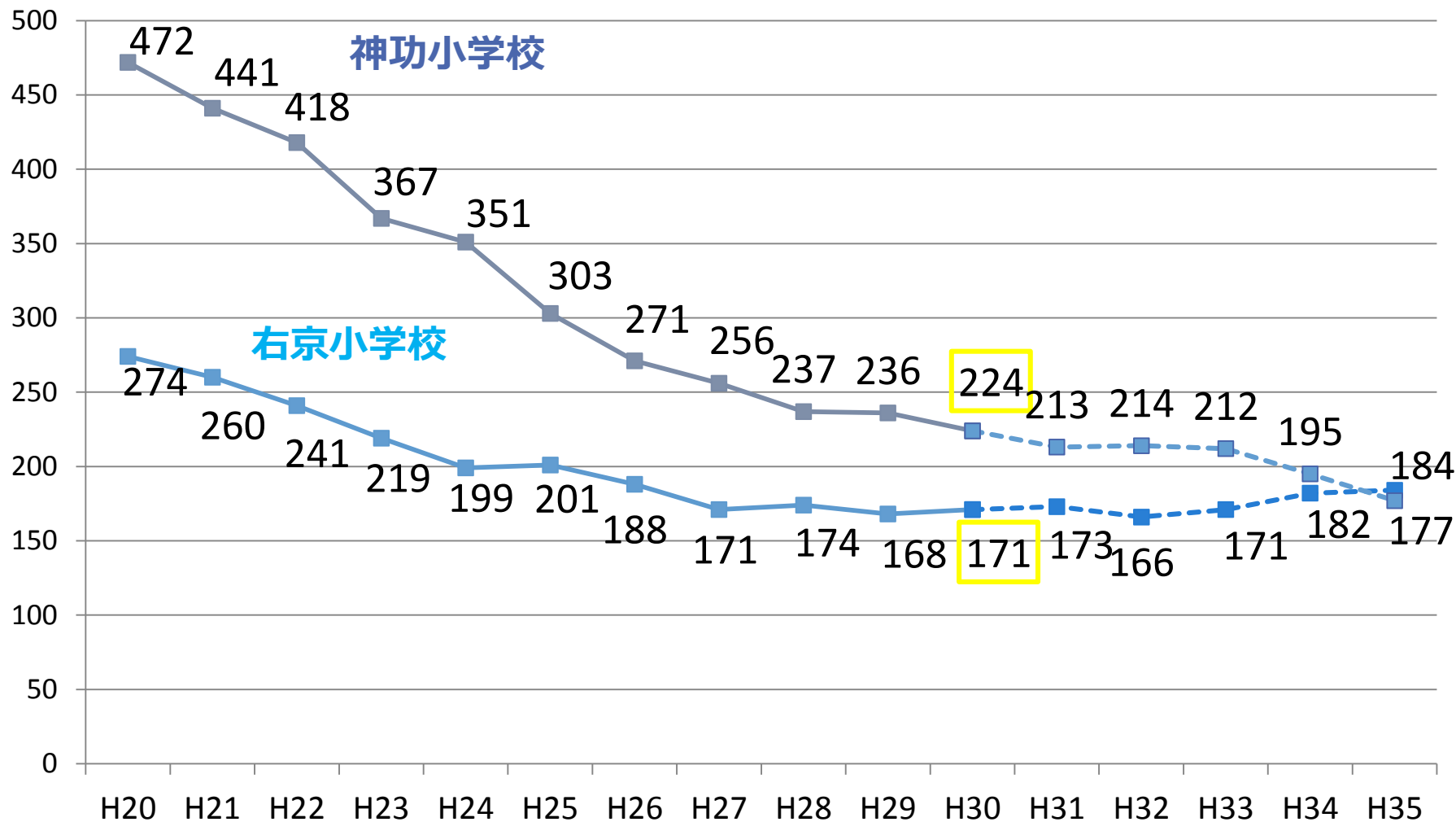
右京小学校と神功小学校の現状

- ・ 右京小学校・・・小規模校（7学級171人）
- ・ 神功小学校・・・小規模校（9学級224人）

※平成30年5月1日現在

* 各年度5月1日現在。平成31年以降は平成30年5月1日現在の住民基本台帳による推計

【右京小学校及び神功小学校の児童数の推移】



右京小学校・神功小学校の学年別児童数の推移

*数値は平成30年5月1日現在の住民基本台帳による推計
学級数は特別支援学級を除く

右京小学校															
年度	1年		2年		3年		4年		5年		6年		特支 学級	合計	
	人数	学級 数	人数	学級 数	人数	学級 数	人数	学級 数	人数	学級 数	人数	学級 数	人数	人数	学級 数
30	35	2	25	1	21	1	26	1	32	1	25	1	7	171	7
31	27	1	35	2	25	1	21	1	26	1	32	1	7	173	7
32	25	1	27	1	35	1	25	1	21	1	26	1	7	166	6
33	31	2	25	1	27	1	35	1	25	1	21	1	7	171	7
34	32	2	31	2	25	1	27	1	35	1	25	1	7	182	8
35	27	1	32	2	31	1	25	1	27	1	35	1	7	184	7

神功小学校																
年度	1年		2年		3年		4年		5年		6年		特支 学級	合計		
	人数	学級 数	人数	学級 数	人数	学級 数	人数	学級 数	人数	学級 数	人数	学級 数	人数	人数	学級 数	
30	31	1	38	2	43	2	30	1	31	1	39	2	12	224	9	
31	28	1	31	2	38	1	43	2	30	1	31	1	12	213	8	
32	32	2	28	1	31	1	38	1	43	2	30	1	12	214	8	
33	28	1	32	2	28	1	31	1	38	1	43	2	12	212	8	
34	26	1	28	1	32	1	28	1	31	1	38	1	12	195	6	
35	20	1	26	1	28	1	32	1	28	1	31	1	12	177	6	

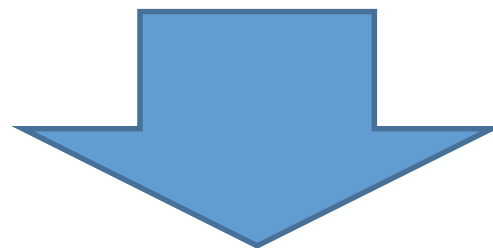
右京小学校と神功小学校が統合した場合

右京小学校
(小規模)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支学級	合計
学級数	2	1	1	1	1	1	—	7
人数	31	25	27	35	25	21	7	171

神功小学校
(小規模)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支学級	合計
学級数	1	2	1	1	1	2	—	8
人数	28	32	28	31	38	43	12	212



* H30.5.1 学校基本調査より
(学級数は特別支援学級を除く)

統合再編後の小学校
(適正規模)

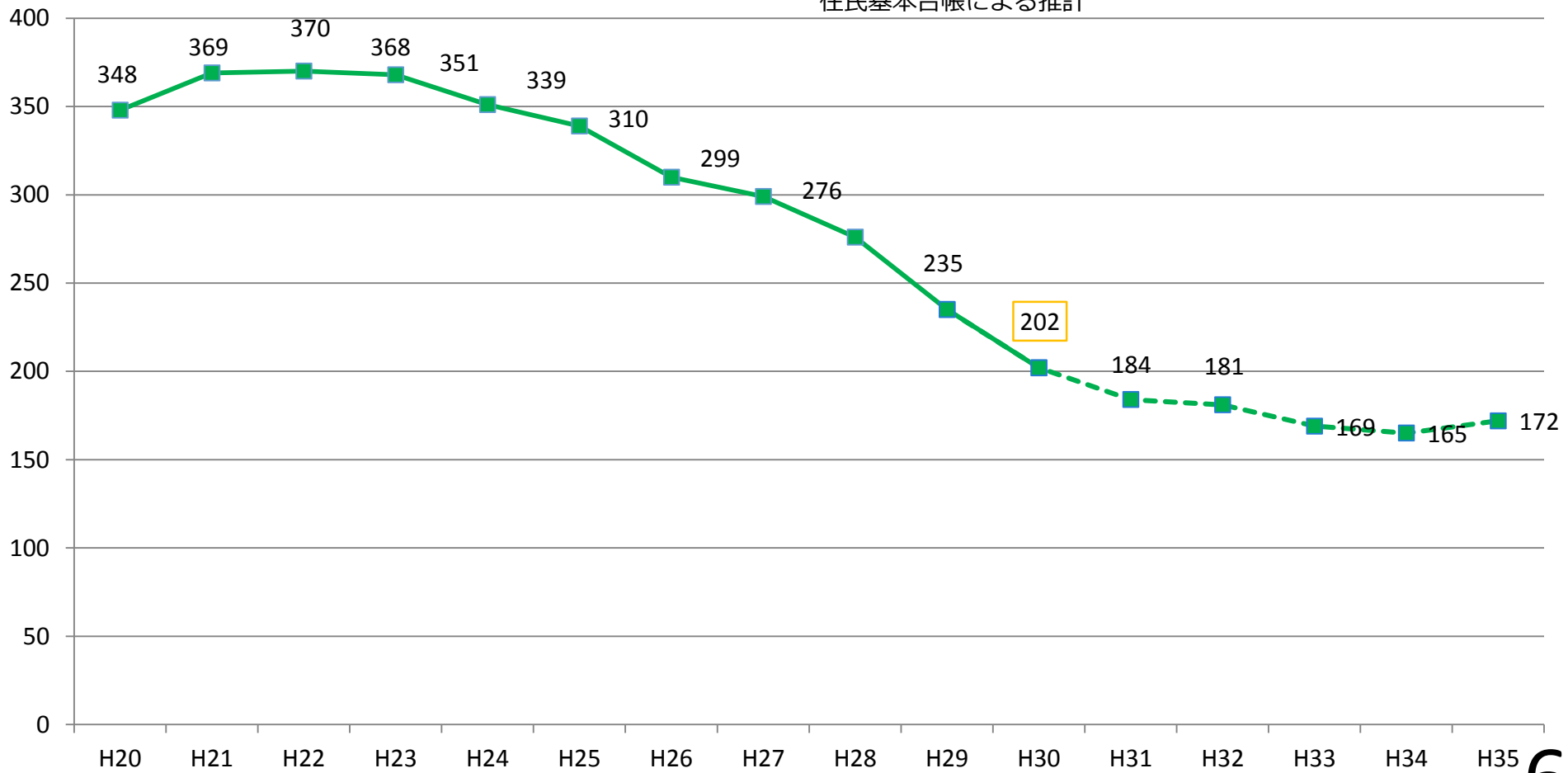
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支学級	合計
学級数	2	2	2	2	2	2	—	12
人数	59	57	55	66	63	64	19	383
1学級 当たり	29.5	28.5	27.5	33	31.5	32	(19)	30.3

平城西中学校の現状

- ・ 平城西中学校・・・小規模校（7 学級235人）

【平城西中学校の生徒数の推移】

* 各年度 5 月 1 日現在。平成 3 1 年以降は平成 3 0 年 5 月 1 日現在の
住民基本台帳による推計



平城西中学校の学年別生徒数の推移

年度	1年		2年		3年		合計	
	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数
30	64	2	58	2	80	2	202	6
31	62	2	64	2	58	2	184	6
32	55	2	62	2	64	2	181	6
33	52	2	55	2	62	2	169	6
34	58	2	52	2	55	2	165	6
35	62	2	58	2	52	2	172	6

＊ 数値は平成30年 5 月 1 日現在 住民基本台帳による推計
特別支援学級の生徒・学級数は除く

学校規模適正化 中学校区別実施計画（案）

「後期計画」

右京小学校、神功小学校、平城西中学校は小規模校であり、平城西中学校区全体の教育環境を鑑みた小中一貫教育を軸とした統合再編を検討する。

（平成28年10月策定）

平城西中学校区



- ① 右京小学校の場所で統合再編
- ② 神功小学校の場所で統合再編
- ③ 新たな場所で統合再編
- ④ 平城西中学校の場所で統合再編
- ⑤ 統合再編しない。
または、統合再編しないで
6年生のみ平城西中学校へ通う

実施時期について（市教育委員会としての方針）

- ・ 平城西中学校の敷地に小学校を新設し、
右京・神功小学校を統合再編して
中学校との施設一体型小中一貫校とする。
- ・ **開校はH33年4月を目途とする。**
 - H31年度に新校舎等の設計
 - H32年度に建設
 - H33年4月に小中一貫校として開校

※ 議会では両地域からの請願について審議中である。

新しい学校構想のPoint

1. 教育内容

- ・ 統合再編の必要性和統合後の姿
～右京・神功小学校が統合した場合
- ・ なぜ施設一体型小中一貫教育校か
～平城西中学校区の場合

2. 施設整備

- ・ 施設一体型の学校の姿

3. 懸案事項

- ・ 統合再編までにしておかなければならないこと
- ・ 跡地活用について

保護者の皆様の声 ～統合再編に対する不安・要望～

- 今の教育（学校）は、少人数で子供と先生のコミュニケーションがとりやすく、子供同士も仲良くなりやすい。
- 今の教育（学校）は、先生の目が届くので安心。
- △ 9年間同じ場所、同じメンバーでの生活・学習は子供にとって良くない。
- △ 中学校での段差は必要。
- △ （右京小学校の子は）通学距離が長くなる。
- 右京小学校の場所で統合再編するのであれば、右京は賛成。
- いずれにしても、中学校の規模が課題。
- 本当に教育が良くなるのか？
- 統合するのなら、施設を充実してほしい。

○ 少人数の良さ ～統合再編に対する反対の声～

統合再編前

- 今の教育（学校）少人数だから先生とのコミュニケーションがとりやすい。
- 子供同士が仲良くなりやすい。
- 今の教育（学校）は、先生の目が行き届くので安心。
- 少人数できめ細やかに指導してもらえる。

統合再編後

- 学級内の人数はあまり変わらないので**先生との関係や細やかな指導、子供同士の仲良し感**は変わらない。
- + クラス替えが可能で、**子供の居場所**をつくりやすい。
- + **集団学習**（運動・合唱等）の学習効果があがる。
- + **学年に複数の目**が届く。
- + 学年で**教員が協働**できる。

○ 人間関係の固定化 ～統合再編のデメリット～

デメリットとして

- 9年間同じ場所、同じメンバーでの生活・学習は子供にとって良くない。
- 9年間で人間関係が固定化されてしまう。
- 中学校でリセットできない。
- 中1ギャップの解消というが、中学校での段差は必要。
- 高1ギャップの不安がある。

統合再編の課題

[平城西中学校区の場合]

▲ 1クラスで6年間・リセットあり



▲ 2クラスで9年間・リセットなし



(施設一体型小中一貫校で克服の道を探る)

○ 2クラスで小学校の課題解消

○ 9年間の固定化への課題対応

→ 行事・交流活動の中で

→ 課題を意識した集団作り

○ リセットする仕掛けづくり

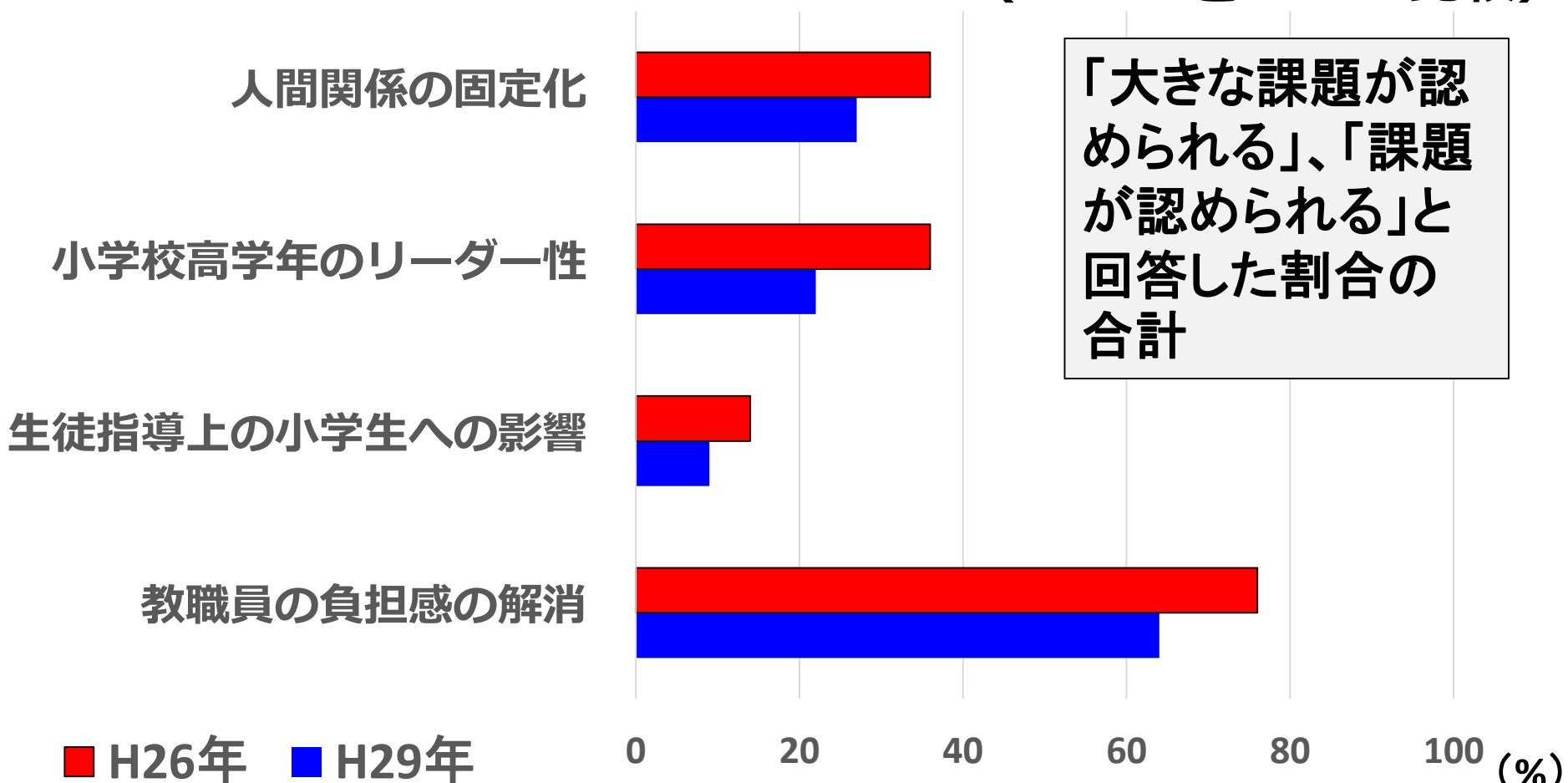
→ 制服・行事等からの「進学」感

→ メンタル面のケア

○ 人間関係の固定化

全国調査より

(H26.5とH29.3比較)



○ 人間関係の固定化 ～統合再編のデメリット～

デメリットとして

- 9年間同じ場所、同じメンバーでの生活・学習は子供にとって良くない。
- 9年間で人間関係が固定化されてしまう。
- 中学校でリセットできない。
- 中1ギャップの解消というが、中学校での段差は必要。
- 高1ギャップの不安がある。

中1ギャップ

[4つの壁]

- ① 横のつながりの壁
複数小学校から進学してくる同級生との人間関係づくり
- ② 縦のつながりの壁
部活動などの先輩・後輩の悩み
- ③ 教科担任制に伴う関わり方の壁
学級担任が教科を教える小学校との違いの中での戸惑い
- ④ 定期テストや勉強の仕方、評価の壁
勉強方法や評価方法の違いから起こる学習のつまづき

○ 人間関係の固定化 ～統合再編のデメリット～

デメリットとして

- 9年間同じ場所、同じメンバーでの生活・学習は子供にとって良くない。
- 9年間で人間関係が固定化されてしまう。
- 中学校でリセットできない。
- 中1ギャップの解消というが、中学校での段差は必要。
- 高1ギャップの不安がある。

施設一体型の課題

〔平城西中学校区の場合〕

中学校での段差と高1ギャップ



〔克服のために〕

- 施設一体型にも段差はある。
→ 安心感と段差のケアー
= 中1ギャップの解消
- 高1ギャップ解消の鍵
→ コミュニケーション力
+ ストレスコントロール力
↓
○ 集団づくり + 学校としてのケアー

○ 統合することの弊害 ～右京小学校のデメリット～

現実問題として

- ・ 通学距離が長くなる。
- ・ 右京小学校の場所で統合再編するのであれば賛成。
- ・ バンビーホームが遠くなる。
- ・ 登下校の安全の確保。
 - 交通安全
 - 不審者から身を守る

施設一体型の課題

[通学距離の課題]

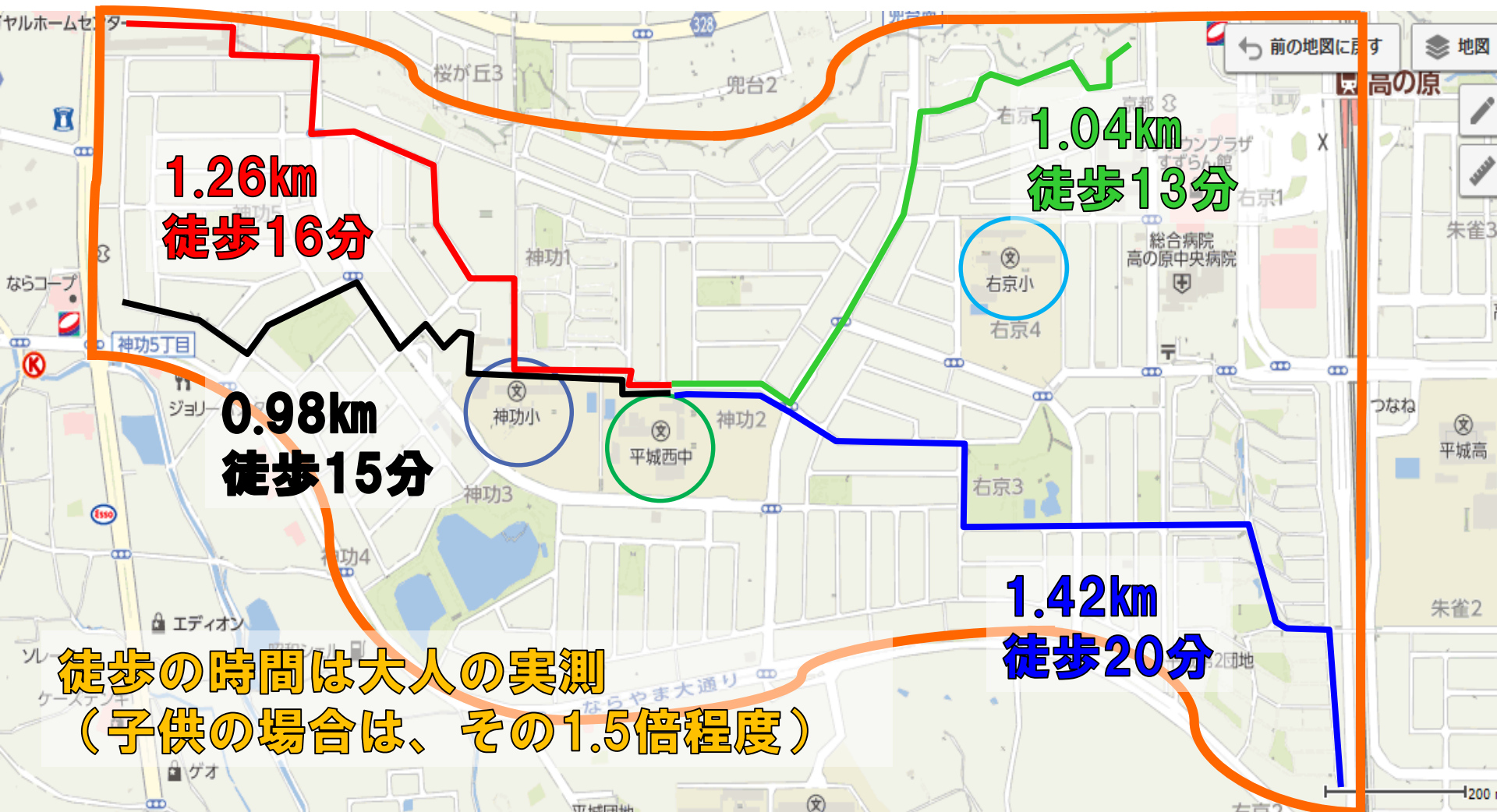
- ▲ 平城西中学校正門まで
 - ・ 神功6丁目マンションから
 - ・ UR平城右京団地から
 - ・ 神功5丁目から
 - ・ 平城第2団地38号棟から

基準では、

小学校： 4km以内

中学校： 6km以内とはいうものの…

○ 統合することの弊害 ～右京小学校のデメリット～



ご負担をおかけしますが、よろしくお願いします。19

○ そもそも論として ～平城西中学校区の課題～

中学校が小規模の課題

- ・ 平城西中学校区の課題は小学校の規模よりも中学校が小規模になってしまうこと。

[例えば]

- * 部活動の維持
- * 教員の絶対数不足
- * 学校としての活気

※ 教育の中身は、現場の先生も含めて検討していきます。

施設一体型を生かして

[例えば…]

- ・ 小学校教員の部活顧問。
- ・ 小学校5年生からの部活動参加。
- ・ 中学校教員プラス1名
- ・ 小中の兼務辞令で
→ 小学校教員に中学校教員を配置することも可能
- ・ 小中合同行事や小中交流で
→ 中学校生徒会が主導で企画
(承認意識からの活性化)
(奉仕精神、貢献意識の高揚)

○ なぜ、小中一貫なのか ～平城西中学校区の課題～

統合再編のための手段？

(右京＋神功) × 平西中

- 施設一体型小中一貫教育って、どんなメリットがあるの？

[施設一体型小中一貫校の課題を超える相乗効果]

これらの効果に加えて平城西中学校区では

[小学校の効果]

- + クラス替えが可能で、**子供の居場所**をつくりやすい。
- + **学年に複数の目**が届く。
- + **集団学習**（運動・合唱等）の学習効果がある。

[中学校の効果]

- + **部活動の活性化**。
- + 関わる**教員の増加**。
- + **生徒の活動**（交流行事・生徒会活動等）の**活性化**。

◎ 小中の積年の課題克服

- ① 子供の学びがつながる。
- ② 子供の生活がつながる。
- ③ 教員の視界がつながる。

- ☆ **小学校の指導がより手厚く！**
- ☆ **中学校で子供の成長を実感！**
- ☆ **よりアットホームな学校に！**

○ なぜ、小中一貫なのか ～平城西中学校区の課題～

統合再編のための手段？

(右京＋神功) × 平西中

- 施設一体型小中一貫教育って、どんなメリットがあるの？

[施設一体型小中一貫校の
課題を超える相乗効果]

これらの効果に加えて平城西中学校区では

[具体的に～例えば～]

☆ 小学校の指導がより手厚く！

- ・ 英語、音楽、図工や理科などの教科で専門性のある授業を
- ・ 中学校で必要な力が分かり、将来に備えた学習が
- ・ 高学年では、中学校の教員も子供の心をケアー

☆ 中学校で子供の成長を実感！

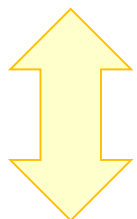
- ・ 学習スタイルがつながり、自ら学ぶ力が育つ
- ・ 進学前（小学校）の姿が見え、個に応じた声掛けが可能に
- ・ 中学校卒業まで小学校教員も寄り添います

9年間を見守り、よりアットホームな学校に！

○ 施設を充実してほしい ～平城西中学校区の場合～

“施設” と “人”

- ・ 統合再編で施設が充実するのなら…。



- ・ 施設よりも“人”。
たくさん教員を入れてほしい。

公教育の立場から…

施設の計画（案）

〔施設一体型とするために…〕

- 小学校校舎と小学校体育館の新設
- 小学校サブグラウンドの整備
- 小中兼用プールの新設
- 中学校校舎の改修

今後検討していきます

○ 施設を充実してほしい ～平城西中学校校区の場合～

[小学校兼用プール]

- ・低学年との二漕式

[小学校校舎]

- ・職員室は一つ
- ・グローバルルーム
(ICT教室)
- ・子供の交流スペース
- ・トイレ整備
- ・避難所としての機能

[サブグラウンドと小学校体育館]

- ・主に小学校の授業で活用
- ・武道場としても活用
- ・放課後・休日は地域に開放

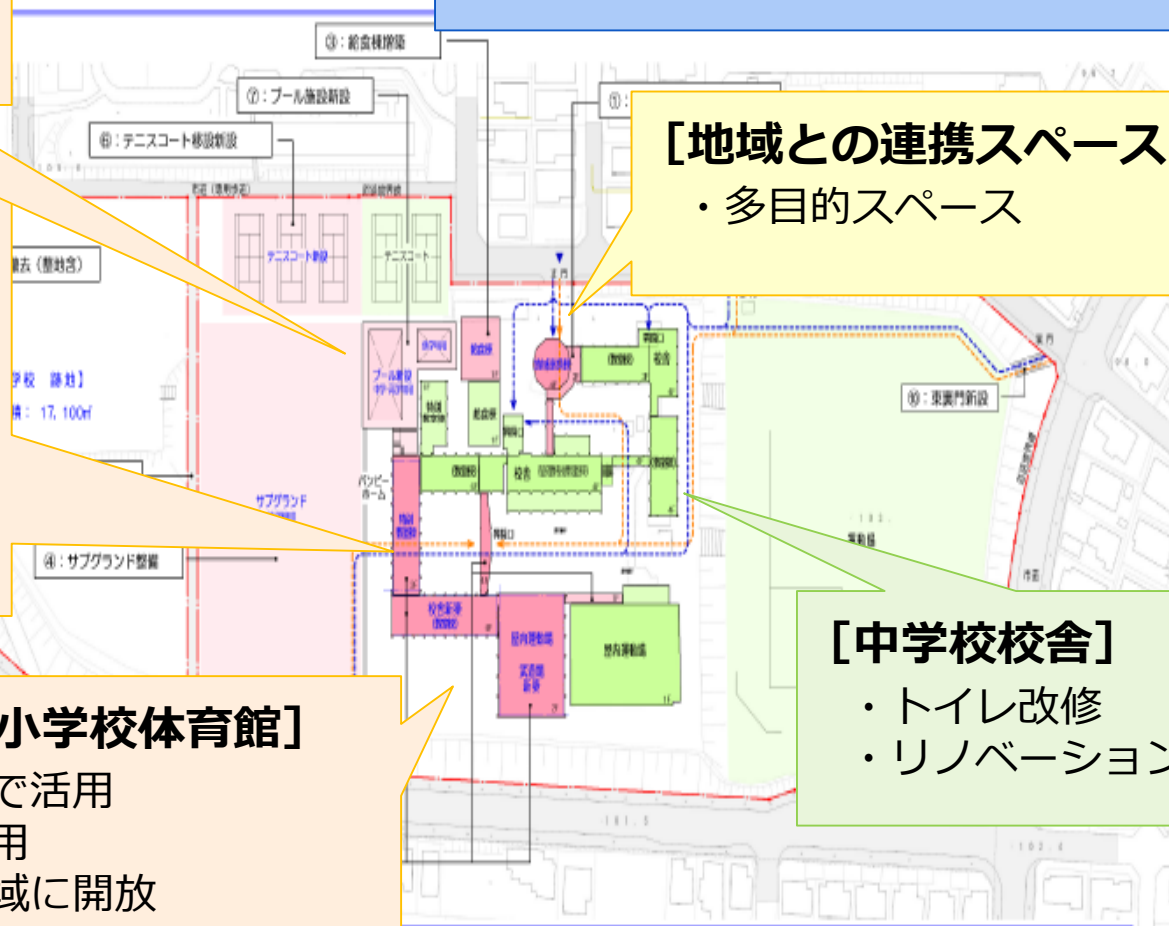
イメージ案（一例として）

[地域との連携スペース]

- ・多目的スペース

[中学校校舎]

- ・トイレ改修
- ・リノベーション



3. 懸案事項 開校に向けて必要な準備と跡地活用

	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31年度)	2020年度 (H32年度)	2021年度 (H33年度)
会議・説明	保護者・地域・学校への説明会を開催	平城西中学校校区での推進協議会（代表者会議）を定期的に開催	閉会	開校記念式典
協議事項	学校規模適正化（統合再編・施設一体型小中一貫校）について説明	校舎等の意見・アイデアの集約	校名・校歌・校章、学校・PTA組織、教育課程・学校行事などを決定	開校
校舎改修等		設計 エアコン	工事 引っ越し	
その他	交流活動の継続	交流活動の充実 跡地活用の協議	生徒会・児童会の再編等	

平城西中学校区 保護者説明会



ありがとうございました。